

東岡崎駅周辺整備検討特別委員会

「東岡崎駅周辺整備について」

平成22年4月27日(火)10時～

都市整備部東岡崎・藤川地区整備課

本日の説明内容

1. 東岡崎駅北口にぎわい広場基本構想
2. 景観デザイン設計指針
3. 東岡崎駅周辺整備の進捗状況について

本日の配布資料



東岡崎駅北口にぎわい広場基本構想

つなぐ駅・にぎわい広場



にぎわい広場整備区域と規模



東岡崎駅北口駅前広場整備計画の基本コンセプト

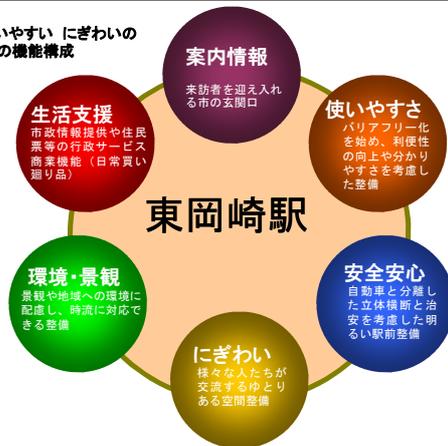
東岡崎駅を核に交通、商業、生活支援、観光、情報などの都市機能を連携させ、

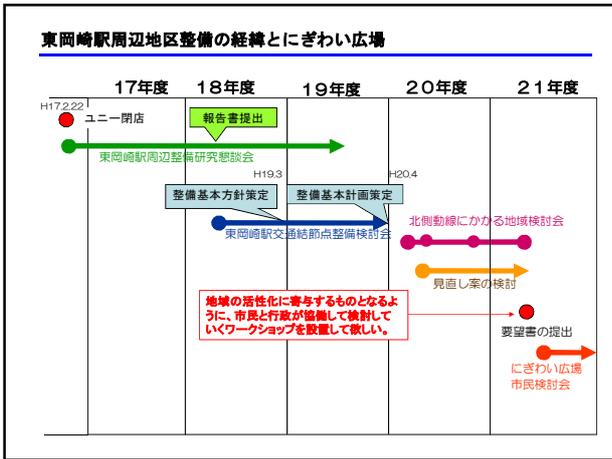
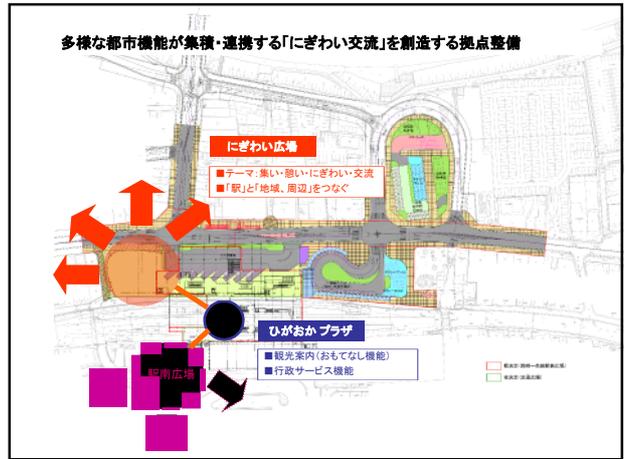
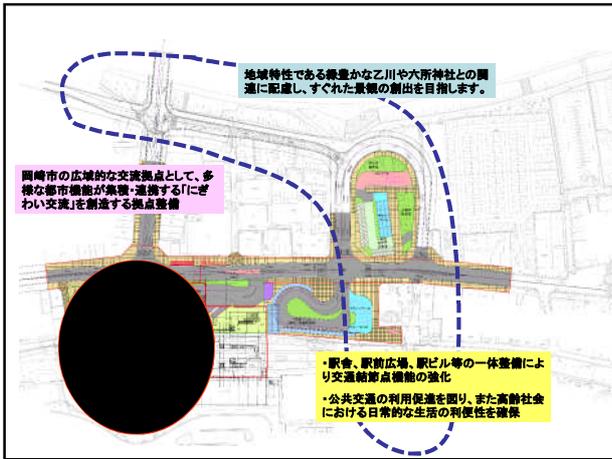
市民が、来訪者が使いやすい個性的な交流・生活空間の創出を目指す

誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点



誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点の機能構成





にぎわい広場基本構想策定の視点

整備コンセプト
誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点
中心市街地活性化基本計画
「点」をつくる、「線」でつなぐ、「面」へ広げる

地域検討会
地域の活性化に寄与するもの

にぎわい広場基本構想

東岡崎駅北口駅前広場整備のコンセプト「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」をベースに、3回にわたる検討会を通じて市民・駅利用者・周辺住民の意向を反映させ「にぎわい広場」に求められる具体的な機能・将来像を提示するもの。

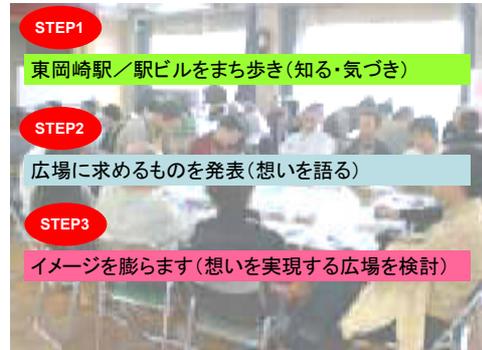
- ### 市民検討会の基本的な構成
- 1 「知る」
現地を確認し、駅とまちをつなぐ広場をイメージしよう
 - 2 「つくる」
広場のイメージを形にしよう
 - 3 「決める」
構想案を評価しよう

第1回検討会「知る」

日時:平成21年11月1日(日) 午前10時～
場所:明德保育園遊戯室
参加者:41名(男性34人、女性7名)



第1回検討会の内容



広場計画への6つの方針

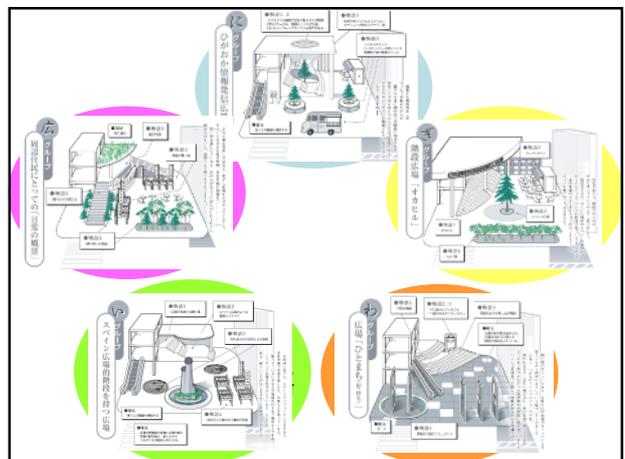
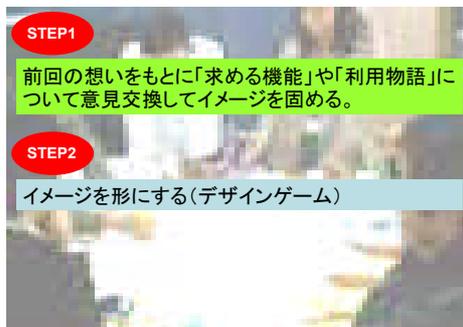
- ①岡崎の顔となり、岡崎の歴史と文化を語る広場
- ②自然を感じる広場
- ③意味のある階段デザイン
- ④広場外の動きとも連動
- ⑤日常と非日常で表情の変わる広場
- ⑥「わ」を感じる広場

第2回検討会「つくる」

日時:平成21年11月29日(日) 午後1時～
場所:明德保育園遊戯室
参加者:32名(男性27人、女性5名)



第2回検討会の内容



広場に求められる6つの機能

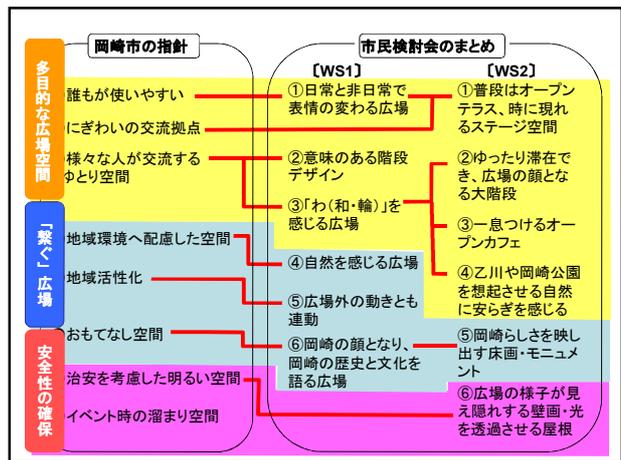
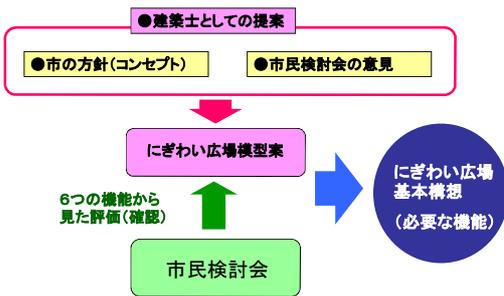
- ①ゆったり滞在でき、広場の顔となる大階段
- ②一息つけるオープンカフェ
- ③乙川や岡崎公園を想起させる自然に安らぎを感じる
- ④普段はオープンテラス、時に現れるステージ空間
- ⑤岡崎らしさを映し出す床画・モニュメント
- ⑥広場の様子が見え隠れする壁画・光を透過させる屋根

第3回検討会「決める」

日時:平成22年1月24日(日) 午前8時30～
場 所:明德保育園遊戯室
参加者:26名(男性23人、女性3名)



第3回検討会の内容

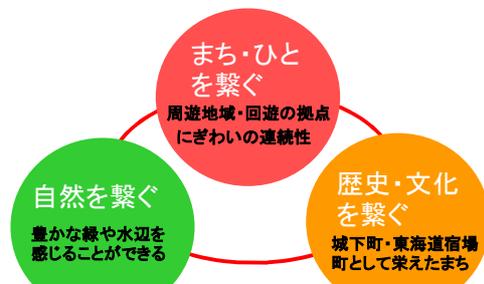


多目的な広場空間



交通結節機能を活かし「集い」「憩い」「にぎわい」「交流」する広場としての機能を持たせ、岡崎の玄関口にふさわしい「表情」がかわる広場を形成。

「繋ぐ」広場



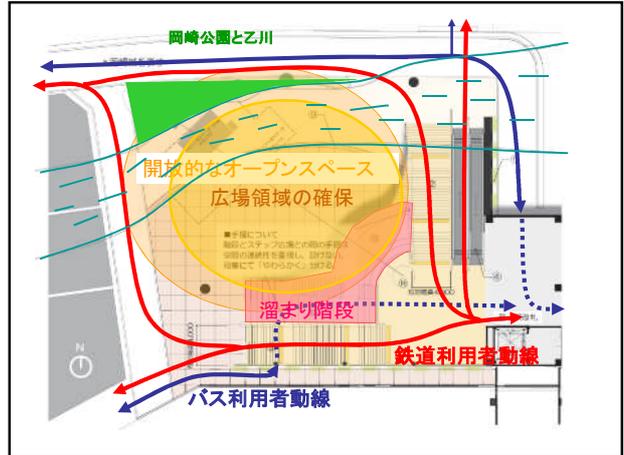
おかざきの特性である、多様な魅力・資源の集積を生かした回遊ルート(歩行者を中心としたネットワーク)の拠点となる広場空間を形成

安全性の確保

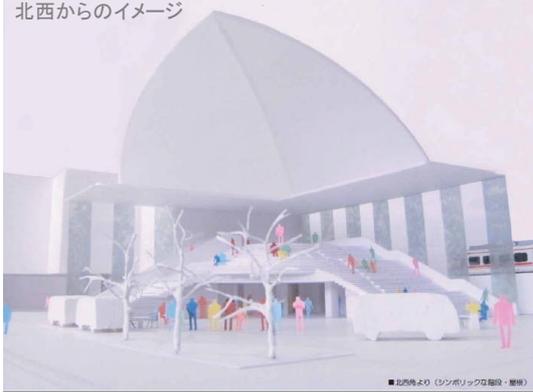
現在の駅前広場の課題

- ・駅舎、バスターミナルへの歩行者動線が交錯
- ・歩行者空間が狭小
- ・花火などの大型イベント時の人溜まり空間が欠如
- ・駅舎へのアクセス経路がバリアフリー化されていない

周辺施設等を相互に結ぶ歩行者動線が輻輳するため、極力動線を単純化、短縮化し、連続性に配慮し、だれにでも「使いやすい」「わかりやすい」「安全な」広場空間を形成。



北西からのイメージ



西側地上レベルからのイメージ



上空からのイメージ



構想案の評価①

① ゆったり滞在でき、広場の顔となる大階段

- 機能性やゆとり階段が区分され使いやすそう。
- △ 擁壁や利用者動線を考え西側より北側を広げるなり、まだ良くなるのでは。

② 一息つけるオープンカフェ/会話のはずむ市場

- 広場全体を使った利用ができるので良い。
- △ イベント向きではなさそう。ステージの場所がどうか。
- × 日本人にオープンカフェの文化が馴染まないし、イベント時に駅利用者に迷惑になるのでは。

構想案の評価②

③ 乙川や岡崎公園を想起させる自然に安らぎを感じる

- 外につながる広場になっていて、緑化スリットも良い。
- △ 緑の植栽を増やしたり、乙川や岡崎公園がイメージできる工夫が必要。
- × 現状では安らぎを感じるのは難しい。

④ 普段はオープンテラス、時に現れるステージ空間

- 楽しそうだし、移動販売はやりやすそうだ。
- △ ステージに向き合う階段を検討し、ステージ設置にはもう工夫欲しい。

構想案の評価③

⑤ 岡崎らしさを映し出す床画・モニュメント

- お祭りの出発点や終着点として活用すると良い。
- △ 乙川を表現している床面や車止め等について素材やデザインにこだわりがあってよい。また、天井に広告を映し出すなど、媒体変化に対応できるものにしたい。
- × 印象に残るものがない。

⑥ 広場の様子が見え隠れする壁面・光を透過させる屋根

- 広場と電車を分ける壁面デザインが良い。また、開放感があり、採光ができて良い。
- △ 屋根の一体感や汚れなどのメンテナンスが心配。鉄道・バス・道路からの騒音への配慮が必要。

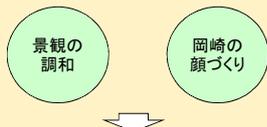
まとめ

- 1 50年かけて愛される広場を目指す。
- 2 駅ビルデザインとの調和を大切に。
- 3 歩行者に優しいまちづくりの発信地に。

「景観デザイン設計指針について」

ねらい

東岡崎駅北口駅前広場整備計画



景観デザイン設計指針

景観面やデザイン面で配慮すべき事項について
基本的な考え方を示したもの

検討の流れ

東岡崎駅北口駅前広場整備基本計画

[景観デザイン設計指針]

1 東岡崎駅周辺の景観の成り立ち

2 景観デザイン設計指針の策定

景観デザインの目標と
デザインコンセプトの設定

個別デザインの検討

1. 東岡崎駅周辺の景観の成り立ち

地形が潜在的に持つ東西の軸

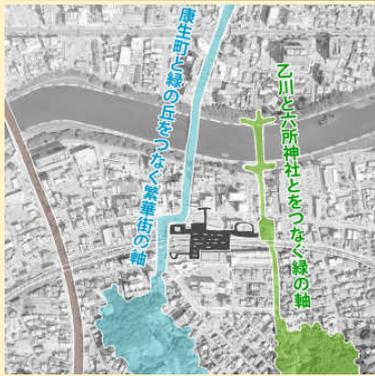
北の繁華街と南の緑の丘とを結ぶ南北の軸

城下町 岡崎宿
からつながる時間の軸

地形が潜在的に持つ東西の軸



北の繁華街と南の緑の丘とを結ぶ南北の軸



城下町 岡崎宿 からつながる時間の軸



2. 景観デザイン設計指針の策定

【景観デザインの目標】

- ① 地形が潜在的に持つ東西の軸を、景観を特徴づける要素として肯定的に捉えて活かす
- ② 東西の軸を貫く南北の軸を強調することによって、ダイナミックな動きを演出する
- ③ 城下町 岡崎宿からつながる時間の軸を意識し、都市景観の系譜を想起させる

【デザインコンセプト】

“つなぐ駅 東岡崎”

- ① 人と“風土”をつなぐ
- ② 人と“歴史”をつなぐ
- ③ 人と“交通”をつなぐ
- ④ 人と“人”をつなぐ





人々が集まり活気のあるにぎわい広場の内観イメージ

5. 南口駐輪場



駅南口と南口駐輪場のイメージ

6. 明大寺交通広場



六所神社の参道から延長された、松並木のある明大寺交通広場のイメージ

補助指針

- (1) サイン計画
- (2) 照明計画
- (3) 植栽計画

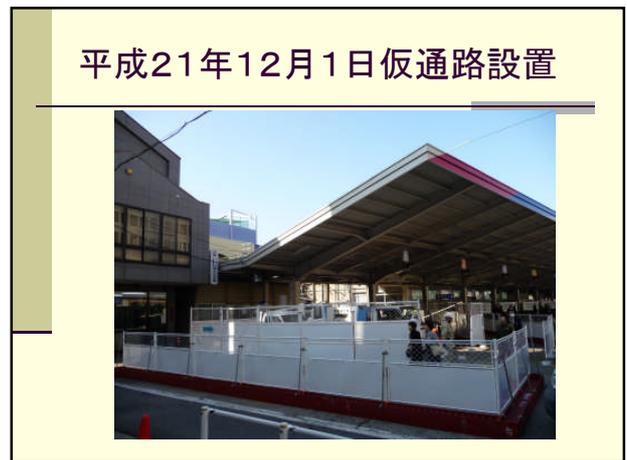
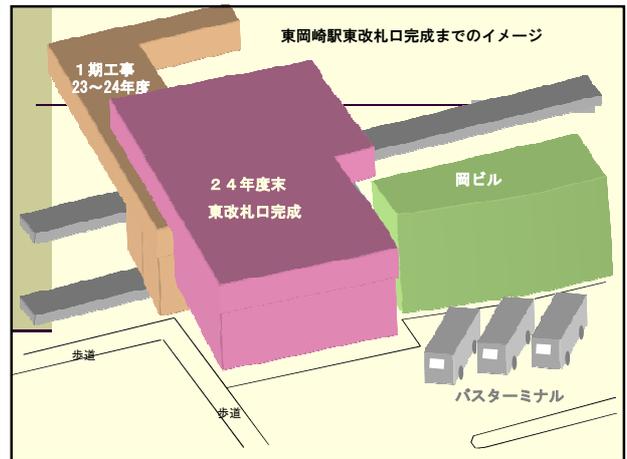
景観デザイン指針設計に基づく事業展開

愛知県／岡崎市／鉄道事業者など



東岡崎駅周辺整備の進捗状況について

工事状況の現況について



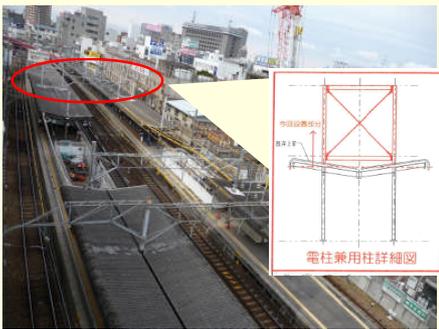
平成21年12月7日
バス上屋・乗務員休憩棟の撤去



(1~2月)ホーム上屋一部撤去
電路(電線)の防護、通信設備移設



支障になる電柱の撤去と電柱兼立柱
の設置



平成22年3月31日現在
基礎工事(掘削)



今年度の工事工程

バリアフリー
化工事完了

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
バリアフリー化工事											
・ホーム内基礎・杭工事											
・ホーム橋上部工事											
・ホーム外基礎・杭工事											
・ホーム外昇降部工事											
(関連工事)											
明大寺交番移設工事											
・建築工事											
・現交番解体工事											